

## JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第55回総会議事録
- ◇日本惑星科学会第144回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第145回運営委員会 議事録
- ◇日本惑星科学会第146回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第147回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

### ◇日本惑星科学会第55回総会議事録

日時:2021年6月3日(木) 12:30-13:30

場所:オンライン開催

正会員数:592名

定足数:59名

参加人数:114名(最終参加人数)

委任状:92通(議長:90通, 中村 昭子会員:1通, 佐々木 晶会員:1通)

#### 1. 開会宣言

保井総務専門委員長が開会を宣言。

#### 2. 議長団選出

運営委員会からの推薦で議長に小玉 貴則会員, 書記に松岡 萌会員が選出された。

#### 3. 議事

##### 3.1. 審議事項

##### ・第15期下期(2020年度活動報告)(中村会長)

日本惑星科学会2020年秋季講演会の参加者および発表数, 学会誌の発行状況, 最優秀研究者賞および最優秀発表賞, 各種講習会の開催状況などの説明がなされた。

##### ・第15期下期(2020年度)会計決算報告(佐伯財務専門委員長)

第15期下期の一般会計・特別会計の決算報告についての説明がなされた。新型コロナウイルス感染症対策のため, 秋季講演会(リモート開催のため)の収支および研究会等補助の支出が0となる旨の説明がなされた。

##### ・会計監査報告(小河会計監事)

収支決算に誤りのないことが報告された。

**・第16期(2021年度)基本方針(中村会長)**

今期の学会体制に関する指針に関して説明がなされた。

**・質疑応答及び討論**

特になし。

**・採択**

審議事項の採決が行われ、賛成: 195(うち出席者103)、反対: 0、保留: 0により採択された。

**3.2. 報告事項****・2020年最優秀研究者賞受賞者発表(野村学会賞選考委員長)**

平野 照幸会員(アストロバイオロジーセンター)と片岡 章雅会員(国立天文台)の両名に授与されることが発表された。

**・2021年秋季講演会開催案内(渡邊2021年秋季講演会組織委員)**

2021年秋季講演会の実施案についての報告がなされた。開催期間は9/16-18とし、現状、対面(会場:名古屋市立大学田辺通キャンパス)+オンラインのハイブリッド開催を予定している。口頭発表は会場またはZoomを選択したうえで、Zoomで配信する。ポスター発表はSlackへのアップロード形式を取る。ただし会場にてA0ポスターのスペースも準備予定であり、Slackに加えて現地での掲示も可能となる。発表受付および参加費支払期間は6/18-8/27、発表申し込み期間は6/18-7/16の予定。支払にはイベントペイを使用する。

**・各種専門委員会・作業部会等報告(各種委員長 他)****・第16期上期(2021年度)会計中間報告(佐伯財務専門委員長)**

会計の中間報告についての説明がなされた。収入支出ともほぼ予算案通りである旨の説明、また、会員区分・所属のアップデート依頼、会費未納入の方へ納入依頼呼びかけがなされた。

**・マスタープランについて(竝木副会長)**

マスタープラン2023への対応についての報告がなされた。学術会議からの公募は2022年1月以降の見込みである。大型研究計画への対応として、2021年6月に現況調査目的のヒアリングが実施され、また、学会内からの新提案の取り込みを目的として2021年7月から12月にかけて学会員向けの説明会および趣旨説明会等が実施され、公募応募へ向けて準備を進める旨の説明がなされた。

**・第2回「来る10年の月惑星探査検討会」民間企業との共創・情報提示について(関根惑星探査専門委員長)**

第2回「来る10年の月惑星探査検討会」についての報告がなされた。サイエンスとテクノロジーの新しい連携関係を加えたロードマップの策定に関する説明がなされた。マスタープランと「来る10年の月惑星探査検討会」の関係性・連携についての質問があった。「来る10年の月惑星探査検討会」の資金的サポートを得ることに加え、両者タイアップで進めるのがコミュニティにとってもプラスとなる。そのため、マスタープランの中のコンソーシアムプランの一つとして「来る10年の月惑星探査検討会」を加えることが、竝木副会長より説明された。

**・事務局体制検討の中間報告について(中本事務局体制検討作業部会長)**

2020年にイーサイド社から事務局業務終了の相談を受けた件で、2021年12月末で事務局業務を終えたいとの意向が示された。1年間を遷移期間として、2022年は事務員1名体制での事務局運営を行い、2023年1月から新事務局・業務開始へと進める計画に関する説明がなされた。

**・学会公式Twitterアカウント創設に関して(奥住広報専門委員長)**

遊星人の宣伝および秋季講演会の情報発信等の広報目的で、公式Twitterアカウントを開設する旨の説明が

あった。

#### 4. 議長団解任

#### 5. 閉会宣言

保井総務専門委員長が閉会を宣言。

## ◇日本惑星科学会第144回運営委員会議事録

日時:2021年5月17日(月) 20:00 - 21:00

場所:オンライン開催

#### 運営委員:

出席者20名

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 関 華奈子, 千秋 博紀,  
大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 臼井 寛裕, 田近 英一, 中島 健介,  
中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席者3名

田中 秀和, 小林 浩, 倉本 圭

#### オブザーバー:

平田 成(事務局体制検討作業部会員), 諸田 智克(事務局体制検討作業部会員), 佐々木 貴教(事務局体制検討作業部会員)

#### 報告事項:

- ・中本事務局体制検討作業部会長より, 今後の事務局体制の検討について, 中間報告があった。検討の経緯は以下の通りである。
- ・2020年10月に, 事務局業務を委託している株式会社イーサイドから, 業務受託を2021年12月もしくは2022年12月までに終了したいとの申し出があった。
- ・2020年12月に事務局体制検討作業部会を設置し, その後, 4回の部会を開催した。
  
- ・中本部会長より, 以下の方針が提案された。
- ・委託業者を選んで, 移行する。
- ・一般社団法人化は, 別問題として切り離す。
- ・上述の方針について, 意見交換を行った。その結果, 強い異論はなかった。
  
- ・今後の事務局移行に関するスケジュールとして, 以下の提案がなされた。
- ・2021年6月の総会:方針とスケジュールの承認
- ・2021年9月の総会:2022年予算で移行費用の承認  
(新委託業者への委託費用+イーサイドへの移行業務追加費用)
- ・2022年5月の総会:新委託業者の承認(委託費用等)
- ・2022年6-7月:新委託業者との業務委託契約締結
- ・2022年9月末:株式会社イーサイドの業務終了。
- ・2022年10月:新事務局移行・業務開始。

- ・中本部長より、会計年度の変更について提案があった。
  - ・事務局の移行を余裕を持って行うため、会計年度の開始を4月にすることが提案された。
  - ・議論の結果、会計年度を1月開始にした理由を調査し、その上で総務・財務・編集の各委員会が連携して、検討を行うことになった。
- ・以下のような質疑に対して、中本部長から説明があった。
  - ・現在、株式会社イーサイドに委託している業務は、新委託業者にどこまで委託可能なのか：ほぼ同程度の業務が委託可能であると思われるが、細かい内容については、これから各業者と相談して決めていく。ただし、現在の学会サーバなど、全く同じシステム、内容で請け負ってくれる新業者があるかどうかは、現時点ではわからない。
  - ・一般社団法人にしない理由は何か：一般社団法人化することで、社会的信用が増す、銀行口座の作成などの法律行為が行える等のメリットはあるが、一方で、運営に費用が加算される、法的な規制が多くなる等のデメリットもある。国際会議等の大きなイベントを惑星科学会が主催する等の事があれば法人化するメリットはあるが、現状では、そこまでメリットがない、少なくとも事務局移行のために必須というわけではないと判断した。しかし、今後、法人化するメリットも考慮しつつ、事務局体制の移行とは切り離し、必要であれば別のところで検討していただくのがよい。
  - ・一般会員として、いつまで株式会社イーサイドに業務をお願いできるのか：2022年9月末まで可能である。
- ・運営委員から、以下のようなコメントがあった。
  - ・現在、様々な学会が一般社団法人、公益社団法人化しているが、特に、公益社団法人では法的な縛りが大きく、運営にかなりの負担を生じている。社会的信用を得たいということで法人化する方向に持っていくのは良いと思うが、特にそのようなモチベーションがなければ、無理に法人化する必要は無いと思われる。
  - ・SGEPSSの経験では、会員情報の移行はかなり大掛かりな作業であり、それなりに大きな金額を支払う必要があったので、留意しておきたい。一方で、その情報を移行したことで現在は管理が楽になった。会員情報の移行はできるだけしておいた方がよい。

## ◇日本惑星科学会第145回運営委員会議事録

日時：2021年6月2日(水)18:30-20:30

場所：オンライン開催

### 運営委員：

出席者22名

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席者1名

白井 寛裕(委任状:会長1通)

### オブザーバー：

野村 英子(2020年学会賞選考委員長), 田中 佑希(2021年連合大会プログラム委員), 渡邊 誠一郎(2021年秋季講演会組織委員長), 城野 信一(2021年秋季講演会組織委員), 北里 宏平(総務専門委員)

### 議題・報告事項：

1. 2021年秋季講演会について(城野 2021年秋季講演会組織委員)

- ・日程は2021年9月16日(木)から19日(日)までの4日間(19日は一般講演会)。

- ・会場は名古屋市立大学田辺通キャンパス宮田専治記念ホール。
  - ・発表は対面+オンラインのハイブリッド形式で行う。
  - ・口頭発表は会場で直接発表もしくはzoom, ポスター発表にはslackを利用する。
  - ・秋季講演会開催当日までに開催できない状況にならない限り, 対面での発表も実施する。
  - ・6月18日(金)から参加・発表申し込みの受付を開始する。
  - ・参加費の徴収にイベントペイを利用する。
  - ・早期割引は設定しない。
2. 今後の秋季講演会と一般講演会について(玄田 行事部会長)
- ・秋季講演会と併催される一般講演会の位置付けについて提案がなされた。
  - ・開催の承認プロセスは他の共催依頼などと同様に行うものとする。
  - ・学会の年間活動計画書・報告書に一般講演会についても記載することとする。
  - ・2022年の秋季講演会の会場予約について百瀬委員より説明があった。
  - ・秋季講演会の安定開催のためには, 仮に会場のキャンセル料が発生したとしても, それを学会側が負担するのは妥当であるとの合意がなされた。
3. 2020年度最優秀研究者賞について(野村 2020年学会賞選考委員長)
- ・応募者は9名と例年に比べて多かった。
  - ・審査の結果, 平野 照幸会員と片岡 章雅会員の両名が受賞者として推薦され, 承認された。
4. 惑星探査基礎研究若手奨励賞(仮称)の創設検討の要望(野村 2020年学会賞選考委員長)
- ・短期間で成果が出にくい基礎研究を行う若手研究者を奨励する賞の創設について提案がなされた。
  - ・賞創設の是非を含めて検討する作業部会の設置について, 会長・副会長で検討することとなった。
5. 日本地球惑星科学連合: プログラム委員会(田中 連合大会プログラム委員)
- ・2021年大会では, 3セッション(惑星科学, 惑星火山学, 宇宙・惑星探査の将来計画及び関連する機器開発の展望)が学協会セッションとして登録された。
  - ・次期プログラム委員に黒崎 健二会員(正)と門屋 辰太郎会員(副)が推薦され, 承認された。
6. 日本地球惑星科学連合: 学協会長会議(中村 会長)
- ・日本学術会議の近況報告として, マスタープランの募集が開始されたことが報告された。
  - ・次期議長にリモートセンシング学会長の林田 佐智子氏が選出されたことが報告された。
7. マスタープランについて(竝木 副会長)
- ・大型研究計画への対応について説明がなされた。
  - ・7月14日と7月の最終週に学会員向けの説明会を予定している。
8. 事務運営体制について(中本 事務局体制検討部会長)
- ・今後の作業方針とスケジュールについて提案がなされた。
  - ・2021年6月総会 方針とスケジュールの承認
  - ・2021年9月総会 2022年予算で移行費用の承認
  - ・2022年6-7月 新委託業者との業務委託契約締結
  - ・2022年5月総会 新委託業者の承認(委託費用など)
  - ・2023年1月 新事務局に移行
  - ・2021年12月末でイーサイド社との契約は終了する。
  - ・事務局所在地やクレジット支払いの技術的な問題については検討中。
  - ・議論の結果, 提案は承認された。

## 9. 第15期下期決算(佐伯 財務専門委員長)

- ・匿名の方から寄付金10万円を頂いた。
- ・秋季講演会と各種研究会がリモート開催となったことにより、それらの収入と支出はゼロであった。
- ・他は例年通り。

## 10. 第16期上期予算執行状況(佐伯 財務専門委員長)

- ・収入、支出ともにほぼ予算案(例年)通り。
- ・今年も匿名の方から10万円の寄付金があった。

## 11. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

- ・滞りなく発行できている。
- ・学会員向けに学会誌に関するアンケートを取ることを計画している。
- ・編集専門委員に荒川 創太会員、瀧 哲朗会員、野津 翔太会員の3名を追加することが提案され、承認された。

## 12. SNSを用いた学会広報について(奥住 広報専門委員長)

- ・学会公式Twitterアカウントの立ち上げについて提案がなされた。
- ・惑星科学の知識と学会活動を積極的に発信することを目的とする。
- ・アカウントの管理は広報専門委員会が行う(担当委員1名を設置済み)。
- ・他委員会(例えば編集)から依頼を受けて広報専門委員会が発信する。
- ・学会活動の広報でないもの(会員個人の宣伝など)は受け付けない。
- ・継続的な運用のため、利用者・運用者の負担が最小限になるように制度設計する。
- ・議論の結果、提案は承認された。

## 13. 第15期下期活動報告、第16期上期活動計画(保井 総務専門委員長)

- ・総会で提示する活動報告と活動計画の内容について説明がなされた。

## 14. 入退会状況報告(保井 総務専門委員長)

- ・会員数に大きな変動はないことが報告された。

## 15. 第55回総会の議長・書記の推薦について(保井 総務専門委員長)

- ・議長に小玉 貴則会員、書記に松岡 萌会員が推薦され、承認された。

## 16. 学会賞選考委員の入れ替え(保井 総務専門委員長)

- ・次期選考委員に中島 健介会員(委員長)、奥住 聡会員、道上 達広会員、癸生川 陽子会員、成田 憲保会員、寺田 直樹会員、三浦 均会員、臼井 寛裕会員の8名が推薦され、承認された。

## 17. 会員種別の条件について(保井 総務専門委員長)

- ・事務局からシニア会員に関して似た問い合わせが増えているので、学会HPの入会案内ページに情報を追加してほしい旨依頼があった。
- ・会員種別の条件について、シニア会員と学生会員の詳細情報を学会HPに追加することが提案された。
- ・シニア会員の条件は提案通り追加することで合意がなされた。
- ・学生会員の条件については提案の通り変更する場合に発表のエントリーで問題が生じないか学会賞選考委員で検討することとなった。
- ・HPの更新は広報専門委員会が対応する。

## 18. 日本学術振興会育志賞の選出について(保井 総務専門委員長)

- ・他の賞と比べて推薦者を出した回数が少なく、そのような状況をよしとするか問題提起がなされた。



- ・産休・育休などやむを得ない事情で休学中の人も応募できるように、応募資格の見直しを検討してもらう要望を本学会から日本学術振興会に出してもらえないか提案がなされた。
- ・以上について運営委員からの意見をもとに、次回改めて提案を行うことが述べられた。

#### 19. その他

- ・会員登録の際にメール不達の不具合が生じた件について千秋委員より説明がなされた。

## ◇日本惑星科学会第146回運営委員会議事録

**期間:**2021年6月3日(木)～6月5日(土)

**議題:**学会賞検討作業部会の設置について

#### 運営委員会委員:

出席(23名)

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩, 関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 臼井 寛裕, 倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席(なし)

**成立条件:**期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす。

**議決方法:**上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票。

#### 議題:

将来計画専門委員会のもとに「学会賞検討作業部会」を設置したく、その提案について承認を求める。

#### 提案内容:

**目的:**最優秀研究者賞委員会から、研究業績で評価しにくい研究を対象とした賞の新設の要望があったことを受けて、最優秀研究者賞の評価方法の見直し、新しい学会賞の創設、シニア会員の審査員への取り込み等の新しい方針も含め、幅広く検討を行い、方針を示すことを目的とする。

**部会の構成:**田中 秀和(部会長), 中村 智樹, 諸田 智克, 千秋 博紀, 荒川 政彦

**期限:**2021年秋季講演会までに提言をまとめ、その後は解散する。

**審議結果:**議題は原案のとおり承認された(可23・否0)。

## ◇日本惑星科学会第147回運営委員会議事録

**期間:**2021年7月26日(月)～7月28日(水)

**議題:**将来構想検討作業部会の設置について

#### 運営委員会委員:

出席(23名)

中村 昭子, 竝木 則行, 中本 泰史, 玄田 英典, 関根 康人, 奥住 聡, 寺田 直樹, 田中 秀和, 小林 浩,

関 華奈子, 千秋 博紀, 大竹 真紀子, 佐伯 和人, 藪田 ひかる, 保井 みなみ, 荒川 政彦, 白井 寛裕,  
倉本 圭, 田近 英一, 中島 健介, 中村 智樹, 三浦 均, 百瀬 宗武

欠席(なし)

**成立条件:**期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす.

**議決方法:**上記期間内に steering-ml@wakusei.jp 宛に投票.

**議題:**

将来計画専門委員会のもとに「将来構想検討作業部会」を設置したく、その提案について承認を求める.

**提案内容:**

**目的:**惑星科学会から日本学術会議マスタープラン2023に提案する大型研究計画についてとりまとめを行うことを目的とする.

**部会の構成:**荒川 政彦(部会長), 中村 昭子, 中本 泰史, 倉本 圭, 田中 智, 玄田 英典

**期限:**この作業部会の活動は、日本学術会議マスタープラン2023に提案する大型研究計画について方針を出すまでとする. 方針を出したあとは解散する.

**審議結果:**議題は原案のとおり承認された(可23・否0).

## ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2021年8月4日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです. 社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します. (五十音順)

- ・Harris Geospatial 株式会社
- ・株式会社ナックイメージテクノロジー
- ・株式会社ノビテック

賛助会員名簿が2021年3月号および6月号には掲載されていませんでした. この場をお借りしてお詫び申し上げます.